

DBport SE 移行ツールのご説明

移行ツールの概要

「DBport Ver.4」から「DBport SE」にアップグレードする場合に、環境(レジストリ情報、設定ファイル)を移行する必要があります。

移行ツール(dbp4tose.exe)は、「DBport Ver.4」の環境を「DBport SE」用の環境に移行するプログラムです。

1. 移行対象の機能

「DBport Ver.4」は「サーバー機能」「クライアント機能」「パーソナル機能」が用意されており、同一機能ごとに移行処理を実施します。

※移行ツールは「クライアント機能 → パーソナル機能」「パーソナル機能 → クライアント機能」のように異なる機能間の移行には対応していません。

2. 移行対象の環境

「DBport Ver.4」から移行する環境は以下になります。

- ・レジストリ情報(ユーザー情報、ポート番号を始め各種管理情報)
- ・パブリック仕様ファイル/プライベート仕様ファイル
- ・ボタン名称設定ファイル
- ・アクセス権設定ファイル
- ・グループ情報設定ファイル

※移行対象の機能(サーバー機能/クライアント機能/パーソナル機能)によって移行対象のファイルは異なります。

3. 現環境の情報収集

後述の「移行手順」にしたがって操作してください。

- ・「DBport Ver.4」と「DBport SE」は同一PC上に共存できないため、現環境の「情報収集」後に「DBport Ver.4」のアンインストールを実行する必要があります。
- ・対象のDBportがインストールされていない場合は、【情報収集開始】ボタンまたは【情報移行開始】ボタンは押下できません。
- ・新環境への情報移行前にはあらかじめ「DBport SE」をインストールする必要があります。
- ・すべてのDBportの機能を終了した状態で実行してください。

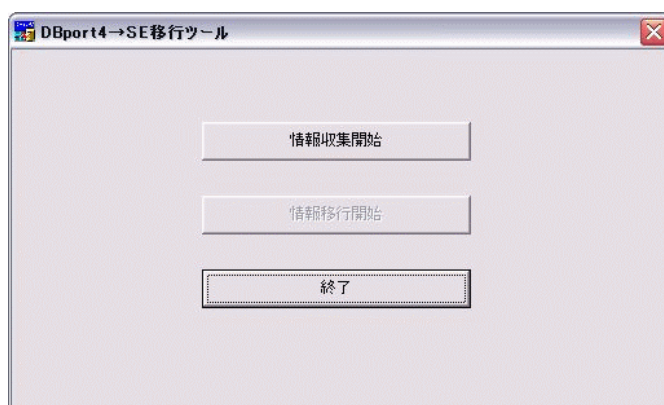
移行手順

移行方法には「同一PC上での移行」と「他PCへの移行」とを用意しています。

1. 移行ツールをインストールする

DBport Ver.4がインストールされているPCに移行ツール用フォルダを作成し、そのフォルダ内にダウンロードした移行ツール(dbp4tose.exe)をコピーします。

移行ツール(dbp4tose.exe)をダブルクリックして起動すると、移行ツール用フォルダには移行情報を保存するためのサブフォルダ(dbp4env)が作成されます。移行が完了するまでサブフォルダは削除しないでください。



■ 移行ツールの画面イメージ

2. 同一PC上で移行する

- 1) 移行ツールの【情報収集開始】ボタンをクリックします。
終了すると『情報を収集しました』のメッセージが表示されます。
- 2) 「DBport Ver.4」をアンインストールします。
- 3) 「DBport SE」をインストールします。
- 4) 移行ツールの【情報移行開始】ボタンをクリックします。
- 5) 移行終了後、移行ツール用フォルダを削除します。

3. 他PCへ移行する

現在稼働している「DBport Ver.4」の環境を、他PCの「DBport SE」環境へ移行します。

◇ 現行PCでの作業

- 1) 移行ツールを起動し【情報収集開始】ボタンをクリックします。
終了すると『情報を収集しました』のメッセージが表示されます。
- 2) 移行ツール用フォルダ*1を新しいPCにコピーをします。
※コピー先は任意の場所でもかまいません。

◇ 新しいPCでの作業

- 3) 「DBport SE」をインストールします。
- 4) 移行ツールを起動し【情報移行開始】ボタンをクリックします。
- 5) 移行終了後、移行ツール用フォルダを削除します。
- 6) ODBCの設定は、現行PCと同じ名称で設定します。

お問い合わせ

移行ツールに関するご質問はDataNature ユーザーサポートセンター*2へご連絡ください。

- ・このソフトウェアの著作権は、株式会社エヌジェーケーにあります。
- ・このソフトウェアおよび本説明書を運用した結果の影響については一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・DataNature (データネイチャー)は株式会社エヌジェーケーの登録商標です。
- ・DBport (デービーポート)は、株式会社エヌジェーケーの商標です。
- ・移行ツールならびに本説明書は将来予告なしに変更することがあります。

*1 移行ツール用フォルダには移行ツール(dbp4tose.exe)とサブフォルダ(dbp4env)が存在します。

*2 ホームページの『教育・サポート情報』をご参照ください。